

## 26日 水曜

ヨハネ



16:1 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがまずくことのないためです。

16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

16:3 彼らがそういうことを行うのは、父もわたしも知らないからです。

16:4 これらのことをあなたがたに話したのは、その時が来たとき、わたしがそれについて話したことを、あなたがたが思い出すためです。わたしは初めからこれらのことを話すことはしませんでした。それはあなたがたとともにいたからです。

16:5 しかし今、わたしは、わたしを遣わされた方のもとに行こうとしています。けれども、あなたがたのうちだれも、『どこに行くのですか』と尋ねません。

16:6 むしろ、わたしがこれらのことを話したため、あなたがたの心は悲しみでいっぱいになっています。

16:7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。でも、行けば、わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。

16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世の誤りを明らかにさせます。

16:9 罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。

16:10 義についてとは、わたしが父のもとに

行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。

16:11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。

16:12 あなたがたに話すことはまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐えられません。

16:13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導いてくださいます。御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語り、これから起こることをあなたがたに伝えてくださいます。

16:14 御霊はわたしの栄光を現されます。わたしのものを受けて、あなたがたに伝えてくださるのです。

16:15 父が持つておられるものはすべて、わたしのものです。ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あなたがたに伝えると言ったのです。

イエス様を信じて永遠のいのちを得た人々は、その多くが迫害を受けました。信仰とはそういうものだからです。もしも永遠のいのちに価値がなかったなら、それにはオマケがたくさん付いてくることでしょう。たとえば家内安全商売繁盛のようなご利益のように。

しかしたとえ、ご利益を含めて全世界を失ったとしても、永遠のいのちを得ることは幸いの極みなのです。それだけで無限の価値があることを知っているのが、殉教者たちはためらわずに信仰を洗濯しました。

当時の状況は弟子たちには過酷でしたが、私たちはその生き様を知って、永遠のいのちの絶大な価値を実感するのです。ならば私たちも、少しは彼らのように、喜びの自己犠牲をも選んでみま

しょう。

弟子たちにとって聖霊が助け手であられたように、私たちにとっても聖霊様がおられます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

